生活クラブ生協大阪／農業体験委員会ニュースNo.20　発行：2022/07

農業体験だより

枚方市藤阪と高槻市郡家で活動している農業体験の日々の活動を発信している「たより」、今回は21年度後半（秋冬期）をお届けします。農作物は四季それぞれ気候変動の影響を受けています。極寒の冬雪が降ったり氷が張ったり、夏は猛暑で草の勢いが半端なく虫もたくさんついたりで、毎年の収穫も豊作だったり不作の時もあります。天候に左右される中で作物を育てる農業には大変な時代であると実感しています。この状況はますます悪くなり良くなることはありません。二酸化炭素の排出を減らすために何ができるのか、生活クラブの活動を通じて考え、行動していきましょう。

10月 稲刈り・脱穀

稲刈り・脱穀は、大人も子どもも頑張ります。お父さんたちの活躍も頼もしい。

高槻

稲を刈った後のわらまきは子どもたちの仕事。

藤阪

落花生もたくさんできたよ

そしてわら切りは大人の仕事

高槻

11月 玉ねぎ定植

高槻では今回初めて早稲（わせ）の玉ねぎを植え、年度始めに新玉ねぎ収穫の体験会を催しました。

高槻

さつまいもの出来はまあまあといったところ。

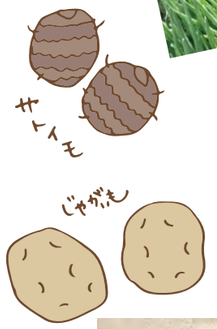
12月
しめ縄作り

しめ縄作りは大盛況！
手作りのしめ縄で良い年が迎えられたかな？

この時期の収穫のお楽しみは大根。
なんと４つに分かれた大根が！
４本分楽しめる（？！）

1~3月
草引き・整地
定植など

年が明けると早速
玉ねぎの草引き。
玉ねぎの草引きは
収穫するまで続きます。
高槻



ジャガイモの定植。